

分布図情報



写真上：統合した地図カウンター（2階） 写真下：地図関連書籍の開架コーナー（2階）

地図：最近岐阜市街図（大正10年発行）

世界分布図センターは、平成22年4月から「郷土・地図情報担当」として新たにスタートします。

地図に関するレファレンス窓口は2階の郷土カウンターと統合し、開架の地図や関連書籍も郷土資料の奥へ移動しました。また、平日は午後6時以降も地図に関するレファレンスやコピーサービスなどがご利用できるようになりました。

コピー郵送サービス、地図資料の特別貸出、地図資料を使った出前授業なども従来どおり行いますので、引き続き変わらぬご利用をお願いします。

収蔵資料の紹介

岐阜県図書館が誇る約15万点の収蔵地図資料から、レファレンスでの利用の多い地図を種類別にご紹介します。

◆地形図



左
1:25,000「墨俣」
(大正9年)
右
1:25,000「岐阜西部」
(平成13年)

- 地形図とは? 測量をもとに等高線や地図記号などで地形を精細に表した地図です。
 - 何枚ありますか? 約24万枚(縮尺1/1万、1/2.5万、1/5万 特に、岐阜県内の古い地形図がたくさんあります。)
 - どう利用できますか?
 - ・ 登山、トレッキング愛好者には、必須のアイテムです。
 - ・ 地形図から地形を読み取って災害に備えることができます。
 - ・ 古い地形図から地域の変貌が読み取れます。
 - ・ 行ったことがない地域や昔の景観がイメージできます。
- (利用例)
- ・ 学校周辺の地域の変化を学習する教材として新旧の地形図を利用(県内教員向け図書館研修参加者)
 - ・ 中山道を歩くために地形図を利用(県内一般の方)

◆外邦図



「南京」1937年

- 外邦図とは?
 - ・ 陸軍参謀本部陸地測量部が作成した中国や朝鮮半島など国外を記録した地図です。
 - 何枚ありますか?
 - ・ 約1.4万枚
 - どう利用できますか?
 - ・ 戦前の地形や自然環境、社会環境が反映されている地図なので、現在の状況との比較に貴重な資料です。
- (利用例) ソロモン沖地震の現地調査で外図「イザベル島」を利用(東京大学地震研究所)

・ 外邦図は戦場となった地域や当時日本人が移住していた地域の地図ですので、自分史や家族の歴史を調べている方の利用もあります。

◆旧ソ連製地図



「НАНКИН (南京)」1984年

■旧ソ連製地図とは？

- ・旧ソ連が製作した旧ソ連、アジア、アフリカ諸国の地図です。
- ・基本的には国外の地形図です。ただし、表記はロシア語です。

■何枚ありますか？

- ・約2万枚

■どう利用できますか？

- ・現在、日本で入手困難な国の詳細な地形を確認したい場合に貴重な資料です。

(利用例) 映画「沈まぬ太陽」(東宝)のロケ地撮影で中東地域の地図が活用

◆古地図



「分間江都図」

■古地図とは？

- ・江戸時代以降の絵図や刷りものの地図で形態や描かれている内容は様々です。国外の古地図もあります。

■何枚ありますか？

- ・約9,000枚

■どう利用できますか？

- ・歴史研究の史料として利用できます。

(利用例) 郷土の地名を調べている方が「美濃国絵図」を利用
(県内一般の方)

(使用例) 岐阜町の繁栄を支えた長良川水運について学習する教材として
「岐阜町絵図」を利用(県内高等学校教員)

- ・古地図は、色彩やデザインといった美術的要素を鑑賞して楽しむこともできます。出版やマスコミ各社からも以下の利用がありました。

『毎日が発見』(角川SSコミュニケーションズ)の連載に「大日本国大絵図」を掲載

『日本鉄道旅行地図帳 朝鮮・台湾』(新潮社)に「釜山案内図」を掲載

『吉田初三郎の鳥瞰図を読む』(河出書房新社)に「分間江都図」などを掲載 など

その他、**空中写真や世界各国の地形図・都市図・地質図・海図**など

各種の主題図も多数保存しています。

【資料検索は岐阜県図書館のHPからでもできます。】

<http://www.library.pref.gifu.jp/>

☐ 学校教育への支援

◆ 児童生徒地図作品展

毎年、県内の小・中・高・特別支援学校に地図作品を募集しています。児童生徒が地図づくりを通して、自分の住む身近な地域や県内外の社会的な事象等に関心を持ち、これからの社会を生きぬく力や確かな国土観・世界観を培うことを願って始めた作品展は、今年度で15回目を迎えました。

● 継続は力なり～ 素晴らしい児童生徒の姿 ～ 「全部、自分でつくりました。」

今年度、当館で実施した作品展開催中、岐阜県図書館長賞に入賞した中学3年生の野島崇弘くんが、展示してある自分の作品(204×142cm)の前で誇らしげに話してくれました。

傍らに寄り添う保護者の方も、微笑みながら次のように話してくださいました。

「この子は、小学3年生から出品をはじめ、今年で7年間地図づくりを続けました。私は、小学校の頃は、アドバイスなどをしましたが、今ではなにもしていません。この子一人でテーマを決めて、情報を集めたり分析したり、構成を考えたりしながらコツコツと作っているんですよ。」

目の前にある大きな地図作品の素晴らしさから、地図作品への継続した取り組みを通して、野島くんが確かな力を培ってきたことが分かりました。



岐阜県図書館長賞



みんなで止めよう温暖化 今、考えるべき地球の未来
土岐市立土岐津中学校3年 野島 崇弘

● 3年連続“国土交通大臣賞”の快挙

毎年、当館で実施する児童生徒地図作品展で入賞した作品を国土地理院主催「全国児童生徒地図優秀作品展」に出品しています。この作品展に平成19年度から

“賞”が設定され、3年連続で最高賞の国土交通大臣賞を受賞しています。



平成21年度
国土交通大臣賞



「洞のつく地名」探究
岐阜市立芥見東小学校5年 服部 彩音

※この作品は、第13回全国児童生徒地図優秀作品展において、平成22年1月14日に、前原国土交通大臣から表彰を受けました。



表彰式にて前原大臣に作品の説明(写真提供:国土地理院)以前、入賞した2作品も紹介します。



平成20年度
国土交通大臣賞



しずくの旅 in 長良川〜川と人のかかわり〜
岐阜大学教育学部附属小学校4年 成戸 雪季



平成19年度
国土交通大臣賞



わたしのうちのまわりのちず
土岐市立妻木小学校 1年 仙石 芽依

●今までの応募作品すべてが、“世界でたった一つの素晴らしい作品”です。来年度もたくさんの応募があることを期待しています。

なお、ホームページで第1回から第15回までに入賞した作品等を紹介しています。ぜひご覧ください。

<http://www.library.pref.gifu.jp/map/index.html>

◆わくわく地図教室

夏休みに入ったばかりの7月中旬・2日間にわたって、小中学生を対象にした地図教室を開催しています。

毎年、地図研究家の渡辺一夫氏に講師として子どもたちを指導していただき、様々な地図を読み取ったり描いたりする楽しい学習内容が、とても好評です。

小学生高学年 A さんの感想

地図のことはあまり知らなかったけど、今日いろいろ教えていただいたので、地図のよさや面白さが分かるようになりました。特に等高線は、線をたどってみると、どの線も必ずスタートしたところに戻ってきたことに驚きました。来年も参加したいです。



地図記号のカルタとり(小学生低学年)

◆出前授業・出前講座

所蔵する地図資料等の利活用を図り、学校教育を支援することを目的として、当センターの職員が県内の小・中・高・特別支援学校や大学からの要請を受けて、出前授業・出前講座を行っています。

今年度は10回(小学校5・高等学校3・大学2)、計587名の児童生徒や学生に対して出前授業・出前講座を実施しました。

学校と学習内容について詳しく打ち合わせ、指導案・資料等を事前に準備して実施しています。



小学校4年生への出前授業

◆分布図研究会

世界分布図センターがもつ地図資料等の機能を活用し、児童生徒が地図を読む力や地図を描く力を身に付けることができるようにするための具体的な方法について、小・中・高等学校の先生方による研究実践を継続してきました。

今までに、「報告書」(10冊)・「研究紀要」(4冊)を刊行してきました。

今年度末までに3年間の成果として「研究紀要」をHPに掲載し、県内外に紹介する予定です。



今までの成果刊行物(一部)

社会教育への支援

◆地図講演会

地図に対する興味関心を深め、地図の利活用を推進する目的で、地図の専門家を講師に招き、平成7年度から講演会を開催しています。

平成21年度は以下の講演会を行ないました。

- 演題 「古地図などからみたヨーロッパ諸都市の変容」
- 講師 戸祭由美夫氏(奈良女子大学文学部教授)
- 講演要旨

幕末に当時の蝦夷地南端部(現在の函館市)に函館奉行所の囲郭である五稜郭が建設された。日本には珍しいヨーロッパ式の星型囲郭であったことに注目して、そのルーツを同様の様式をもった西ヨーロッパの囲郭都市に求めて現地調査を行った。また、16世紀後半にJacob van Deventerによって作成された地形図をはじめ、それ以降に測量・作成された各種の地図ないしその複製、あるいは地図帳形式に編集したものなど、多種多様な古地図類を収集してきた。本講演では、特に鎖国下の日本で唯一通商・文化交流のあったネーデルラント(オランダ)を中心に、ベネルクス各地の囲郭都市に焦点を当て、それらの古地図類を利用しつつ、現在までの都市の変容をご紹介します。



◆館内展示

「岐阜県図書館特別展示 伊勢湾台風50年
～あれから半世紀、岐阜が平ら海になった日～」
7月22日～9月27日

伊勢湾台風から50年目にあたり、岐阜県図書館が収蔵する資料から伊勢湾台風を報じた当時の新聞や防災に関する地図資料、書籍を紹介したほか、木曾川下流河川事務所、名古屋国税局、県防災課などから伊勢湾台風に関する記録等をお借りし、当時の状況や防災意識の向上を啓発する展示を行いました。



その他、以下の展示を行ないました。

- 「吉田初三郎が描いた日本」 3月28日～5月28日
- 「地図の日記念展示『〇〇に役立つ地図』」 4月15日～5月6日
- 「地図で旅する中山道～御嵩から今須～」 5月30日～7月20日
- 「地図でたどる中国の自然と歴史」
- ～外邦図で見る戦前の中国南部～ 10月6日～10月29日
- 「古地図の世界Ⅹ ～鳥瞰図～」 1月6日～2月25日

◆文化講座

展示期間中には、展示のテーマに沿った文化講座を以下のおり行ないました。

- ・鳥瞰図に詳しい藤本一美氏を迎え、文化講座「『大正の広重』吉田初三郎と鳥瞰図の魅力」を開催しました(5月9日)。
- ・輪中研究で著名な伊藤安男氏を迎え、文化講座「伊勢湾台風の教訓は生かされるか」を開催しました(8月29日)。



◆地図講座「地図に歴史を読む」

岐阜県古地図文化研究会、岐阜県地理学会と共催で、平成18年度から一般向けの地図の入門講座を開催しています。岐阜県内各地の新旧の地図を比べて、地形や土地利用の変化を読み取る内容で、受講された方からは「文献ではなく地図から歴史が学べて新鮮だった。」「地図の読み方を学び、洪水などの防災に役に立った。」といった感想が寄せられています。



平成21年度は以下の講座が行なわれました。

- ・第1回 8月1日(土)
「地形図の読み方」
「木曾川右岸の変容－旧羽島郡4町を中心に－」
今井春昭氏(中部学院大学)
- ・第2回 8月8日(土)
「活断層と断層地形」
安田守氏(岐阜県歴史資料館)
- ・第3回 8月23日(土)
「東濃西部における丘陵地利用の変遷」
原賢仁氏(帝京大学可児高等学校)

◆館外展示

県内の図書館、資料館と協力して、以下の館外展示も行ないました。

- ・大野町総合町民センター 6月2日～6月30日
「吉田初三郎が描いた日本」
- ・美濃加茂市中央図書館 10月2日～10月20日
「地図であるく中山道」
- ・ハートピア安八 11月6日～12月1日
「伊勢湾台風50年」

恵那盆地の自然と歴史

恵那盆地は北西側を美濃飛騨山地、北東側を恵那山地で囲まれた地域です。南方には屏風山断層が南西に走り、崖上側は美濃・三河高原に連なっています。保古山など一連の山地は南側で緩斜面、北側で急崖の傾動地塊で、崖下には接続した複合扇状地が形成されています。また、千旦林から岡瀬沢にかけては、かつて木曾川がつくった河岸段丘が隆起した洪積台地で、赤土平とよばれています。これらの扇状地や台地は水の便が悪いため農業用ため池が多数つくられました。近年はこれらの地域に工業団地、大学などがつくられ、大きく変貌しました。

恵那盆地を東から西に流れる木曾川は、西に行くほど深い峡谷になっています。大正9(1920)年、この地を訪れた志賀重昂は「水底の斜面にして愈々急流なれば、水の速度は益々増進し、而も岩に喰い止められて進行し得ず。」と述べ、この風景を絶賛して「恵那峡」と名付けました。この急流で水量が豊富な木曾川に目をつけ、電源開発をすすめたのが福沢諭吉の娘婿福沢桃介です。桃介は大正8(1911)年、長野県に賤母発電所、読書発電所(大正12年)などの水路式発電所を建設しましたが、さらに出力の大きい発電所を目指して大井ダムの建設に着手しました。大正13(1924)年、堤高54m、堤長276mのわが国初の本格的ダム式発電所が完成しました。そして今も私たちに電力を供給し続けています。ダム湖の出現によって両岸に屹

立していた奇岩・絶壁が水辺にせまり、紅花緑葉を水面に映す新しい恵那峡に生まれ変わりました。

恵那市大井町は、中山道46番目の宿場町として栄えました。東の木曾路、南の岩村道、西の中山道(上街道)、伊勢名古屋道(下街道)が交わるところで、6丁半(約700m)の町並みに41軒の旅籠屋(美濃16宿で最多)が軒をならべ、多くの旅人で賑わいました。

「濃州徇行記」(寛政年間1800年頃)には、「此宿まで信州辺より牛荷物も多く通り 往還別してにぎわし 此荷物且伊勢神宮へ参詣の者 此さきにて下街道へわかるる也」と述べています。道幅は2~4間(約4~7m)、6箇所曲の手(枡形)になり、宿場を見通すことのできない構造になっています。いくつもの枡形が見られる宿場は加納宿、木曾福島宿など少数です。

中山道は京都から江戸へ嫁入りする姫君の通行に多く利用され、姫街道ともよばれました。文久元(1861)年10月20日、都を後にした皇女和宮は28日大湫宿、29日中津川宿に宿泊しました。一行は公卿や女官・武士など総勢4000名余と助郷人足約14,000名、馬500頭という前代未聞の大行列で、通過するのに4日かかったといわれています。本陣跡の本陣門と長屋門、格子戸と黒壁が美しい町家などの建物は、当時の面影を今に伝えています。



<参考文献>

「恵那市史 通史編」

恵那市史編纂委員会
(平成元年)

「恵那地域誌 続恵那郡史」

恵那・中津川広域行政組合
(昭和63年)

「地図で読む岐阜」

伊藤安男編著
(平成11年)

1 : 50,000 地形図
「恵那」(平成14年)

国土地理院発行
68%に縮小

平成22年度のご案内

◆展 示

全国豊かな海づくり大会ぎふ長良川大会 協賛イベント
「水とともに生きる -清流が つなぐ未来の 海づくり-」

【期 間】4月23日(金)～6月13日(日)

・ 地図展「地図にみる長良川」のほか、森や河川に関する書籍や郷土資料の紹介、マスコットの握手会などを企画しています。

◆第16回児童生徒地図作品

【公 募】県内の児童生徒からオリジナルな地図作品を9月上旬に公募します。

【期 間】秋季(11月頃)に予定しています。

・ 優秀な地図作品の展示を行ないます。

◆地図講演会

【日 時】7月3日(土) 13:30～15:00

【会 場】岐阜県図書館1階多目的ホール

【演 題】「絵図・地図に描かれた杜と社 -『鎮守の森』考-」

【講 師】金坂清則 氏(京都大学大学院人間・環境学研究科 教授)

◆わくわく地図教室

【日程・学年】第1回 7月22日(木) 13:30～16:30・小学校1年生～小学校3年生

第2回 7月23日(金) 13:30～16:30・小学校4年生～中学生

【会 場】岐阜県図書館2階研修室

【講 師】渡辺一夫 氏

【申し込み方法】希望者は往復はがきに受講者名・学年・住所・電話番号・返信宛先を明記し、7月3日(金)までに申し込んでください。希望者が多数の場合は抽選で決定します。

◆地図講座

【テーマ】「地図に歴史を読む」

【日 時】第1回 10月 2日(土) 14:00～15:30

第2回 10月 9日(土) 14:00～15:30

第3回 10月23日(土) 14:00～15:30

【会 場】岐阜県図書館2階研修室

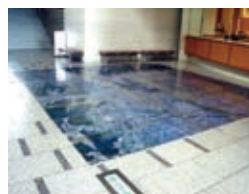
【講 師】今井春昭 氏/安田守 氏/原賢仁 氏

【申し込み方法】希望者は申込用紙に受講者名・住所・電話番号・講座希望日を明記し、9月30日(木)までに2階カウンターまたはFAXで申し込んでください。先着順で定員(40人)になり次第締め切ります。連続講座ではありませんので、各回ごとの申し込みも可能です。

※催し物は変更することがあります。

1階フロアに、「岐阜市周辺空中写真」と「立体地図」を展示しました。

「岐阜市周辺空中写真」は縮尺が1万分の1というスケールで岐阜市周辺を撮影したものです。自分の住んでいる家や通っている学校を探すなど家族づれで楽しめる地図です。また、「立体地図」は、特殊なメガネ(赤青メガネ)で見ることによって、中部地方の地形をリアルに感じることができ楽しめます。ご来館の時にはお立ち寄りください。



「岐阜市周辺空中写真」



「立体地図」

岐阜県図書館には、15万点を超える国内外の各種地図、地図関係図書があり、県内はもとより全国からのレファレンスに対応しています。

また、学習や調査研究、旅行の準備など子供から一般の方まで地図に関するレファレンスに対応していますので、お気軽にご利用ください。

「分布図情報」は本号をもって廃刊します。

岐阜県図書館 世界分布図センター

〒500-8368 岐阜市宇佐4-2-1
TEL (058) 275-5111(内線286)
FAX (058) 275-5115
URL <http://www.library.pref.gifu.jp/map/>
E-mail mapstaff@library.pref.gifu.jp